Smile 通信

令和5年10月　編集・発行／埼玉県住まいづくり協議会

〒330-0853 さいたま市大宮区錦町630 埼玉県住宅供給公社 住まい相談プラザ内
TEL 048-830-0033　ホームページアドレス https://www.sahn.jp/

旧坂東家住宅

contents

シリーズ埼玉のすまい 見沼新田周辺から……2～3頁
令和5年度 住宅施策研究会及び理事懇談会 ……4～5頁
埼玉県省エネ住宅フェア開催のお知らせ……5頁
令和5年 住生活月間シンポジウムのおしらせ……6頁

vol 91

シリーズ埼玉のすまい――48回

見沼新田周辺から
～さいたま市～

3年前に「さいたま国際芸術祭」で展示会場となったさいたま市の浦和くらしの博物館民家園。ここには市内から移築された民家が集められ、園内でのイベントなども繰り広げられ、少なくなった古民家への理解や郷土の歴史に眼を向けるための貴重な場となっている。

それらの紹介は別の機会に譲り、ここではその歴史を物語る建物が市内のもともとあったところに建つ見沼新田周辺の建物を紹介していくこととする。

ところで、このシリーズでは大宮、浦和、与野そして岩槻とそれぞれ一度ずつ紹介している。これらが合併したさいたま市としては初めての紹介ということになる。

旧坂東家住宅

まず、旧坂東家住宅見沼くらしっく館から。

江戸初期からこの地の新田開発を行った坂東家。坂東家の屋号である加田屋をとり、この地の新田は『加田屋新田』と名付けられたという。以来見沼代用水の見回り役、当地の名主、旧片柳村の村長等の要職を務める。

その**旧坂東家住宅**（平成3年に市指定文化財）を現地で解体復原し（表紙）平成8年に開館した博物館施設内の建物である。

平屋（一部二階）、安政4（1857）年築。寄棟造、茅葺。南西に廊下を回し内部は客用の式台付きの玄関から南側に3部屋、それに奥に並列させるような形で4部屋を。奥の部屋は床の間、付け書院が備えられた特別仕様。奥の部屋から西に眼を遣ると開け放たれた空間に陽をあびた庭がみえ、爽やかに風が吹き抜ける。訪れた日には、奥の部屋の脇に懐かしい蚊帳がつるされていた。こうした装置の存在を日常眼にしたのは我々の世代までだろうか。

①旧坂東家住宅 女部屋の天井

②旧坂東家住宅 囲炉裏

③旧坂東家住宅 破風飾り

男女別の奉公人の部屋があるので興味惹かれ、梯子を上がり二階に位置する女部屋の天井を見上げると屋根の茅の構造が露わになって見え、面白い①。

部屋を一覧し土間に降りると、土間の脇には通常午後火が入るという自在鉤につるされた鉄瓶のある囲炉裏が演出効果を発揮する②。

うす暗い内部から外に出て振り向くと広い庭に横に広がる平屋が一望に。向かって右、茅葺の屋根の棟に破風飾りの寿の意匠も③。

古民家の美しさをたたえる建物である。

旧高野家離座敷

浦和から463号バイパスをまっすぐ進み、新見沼大橋にさしかかる芝原1丁目の交差点そば。江戸末期、蘭方医高野隆仙が離れとして建てたもの。茅葺寄棟による木造平屋の4畳半、3畳二間から成る簡素な造りである④。

④旧高野家離座敷 外観

⑤旧高野家離座敷

⑥鈴木家住宅 外観

⑦鈴木家住宅 米蔵

⑧鈴木家住宅 外観

4畳半の方には、茶席用の炉が切られ、床の間も設けられ、隅切りの下地窓もある数寄屋造り⑤。

幕末、隆仙は師である高野長英が幕府に追われた際、ここに匿ったというエピソードが残る。幕末の政治を彩るこうした話が残された建物が足もとにあるとは思わなかった。これも江戸に近いゆえか。

近くには江戸後期、中山道浦和宿の本陣の表門であった大熊家表門が移築されて建つ。

鈴木家住宅

見沼地区で欠かせない史跡、といえば国指定史跡見沼通船堀。産業交通の遺跡として貴重な閘門式運河遺構である。通船堀、富士塚、水神社、そして通船堀の差配にあたった鈴木家。その構成要素である**鈴木家住宅**。

東浦和駅から歩いて間もなく。八丁堤を歩いて6、7分か。背後には見沼新田が広がる。左手に附島氷川女体社を見やりながらまっすぐ進むと見えてくるのが鈴木家住宅。茅葺を覆った銅版屋根の緑色が印象的である⑥。

木造二階建。江戸末期の築という。改修はなされているが豪壮さはそのまま。土間は三和土。奥様は、モグラがいるらしく掘り起こし凸凹だと仰る。道に面し設置されている揚戸はもう持ち上がらないのでそのままとも。重厚な板戸の物入、部屋を仕切る縦繁の美しい障子に囲まれたみせ。奥に何部屋か続く。現天皇が皇太子時代、通船堀の御視察のおり休憩されたという部屋も。

背後に置き屋根の文庫蔵、そして土、日に公開する米蔵と納屋⑦。こちらも江戸末期の築という。

通船に用いられた舟の1/2の模型も別の棟に。改めて表から眺める。太い出し桁を支える重厚な持ち送りが9カ所、ずらっと並ぶさまは壮観である⑧。

緑の広がる見沼新田周辺には、さまざまにつづられた歴史をたずさえた建物が残っている。

伊豆井 秀一（元埼玉県立近代美術館主席学芸主幹）

令和5年度 住宅施策研究会及び理事懇談会

令和5年度第1回住宅施策研究会及び理事懇談会が、9月1日（金）にホテルブリランテ武蔵野（さいたま新都心）にて開催されました。宇佐見会長をはじめとする役員、運営委員長及びオブザーバーとして部会長・専門委員長など、総勢29名が参加しました。

第1部住宅施策研究会では、都市整備部住宅課の牧野課長から、埼玉県の住宅施策について説明がありました。

1. 埼玉県の住宅施策について

（1）令和5年度の県の主要な住宅施策

①住まいの安心・安全の確保（住宅困窮者に対する県営住宅等の提供、住宅確保要配慮者の入居支援、被災者などへの住まいの支援、県営住宅の地域貢献、住宅相談窓口。）
②多様化するニーズ、社会情勢への対応（子育て世帯への住まいの支援、高齢者等への支援、住宅確保要配慮者の入居支援、子育て世帯・移住世帯への省エネ改修支援。
③良質な住宅ストックの形成（中古住宅流通・住み替え促進、長期優良住宅の認定、分譲マンションの管理適正支援）

（2）令和5年度の県の主要な施策

①子育て世帯・移住世帯への省エネ改修支援（子育て世帯。移住世帯を対象として、国が実施する「こどもエコすまい支援事業」等を活用して住宅の省エネ改修を行った場合に費用の一部を埼玉県が補助します。）
②既存住宅の流通促進（利用目的のない空き家の抑制、既存住宅の流通促進を図るため、埼玉県既存住宅流通促進ネットワークを設置）
③既存住宅の流通促進。～情報発信（PR動画）～
県内への住み替えや空き家を含む既存住宅流通の促進を図る為、PR動画を作成し情報発信を行っている。
・空き家利用活用編
https://www.youtube.com/watch?v=hVshZMsMmPo
・空き家バンク登録促進編
https://www.youtube.com/watch?v=DBUMRAVipqY&t=0s
④既存住宅の流通促進～情報発信（住み替え促進PRイベント）～
市町村等が主催するイベントへの出展や鉄道会社との連携によるイベントを開催し、子育て世帯向けの支援制度や融資制度等の情報発信を実施。
・イベント①:鶴ヶ島市（ワカバウォーク）5月28日実施
・イベント②:東京都墨田区（東京ソラマチ）11月11日実施予定（おいで埼玉!）
⑤埼玉県マンション管理適正化推進計画について
令和2年6月にマンションの管理の適正化の推進に関する法律が改正された。この改正により、マンションの管理の適正化を推進するため、地方公共団体は目標や施策等を定めた計画を策定できることとなった。
・令和5年3月、町村部のマンションの管理適正化を推進するため、「埼玉県マンション管理適正化推進計画」を策定した。
・令和5年8月時点で、県内の11団体（県及び10市）がマンション管理適正化推進計画を策定済み。
⑥長期優良住宅の認定申請のデジタル化
県では、埼玉県DX推進計画を策定し、行政手続やサービスなどの「行政のデジタル化」を推進している。県に対する長期優良住宅の認定申請について、令和6年1月から県電子申請・届出サービスを利用した申請を可能とするために準備を進めている。

2. 住まいづくり協議会と連携施策について

（1）令和5年度埼玉県住まいづくり協議会と連携した住宅施策の検討

①省エネ住宅フェアの開催

・民間事業者と連携『エコで快適な暮らし方などを体感できるイベント』を開催することを通じ、省エネ住宅や環境に配慮した住まい方等の更なる普及を促進する。

②住生活産業担い手DX支援事業

・担い手不足の解消や生産性向上に資するデジタル技術普及のため、住生活産業に携わる事業者に対し、デジタル技術導入促進に向けた取組への支援を行う。また、住生活月間シンポジウムと併せて開催することにより相乗効果を狙う。

（2）「住むなら埼玉!応援パートナー」について

「住むなら埼玉!応援パートナー」とは、県内の定住人口の増加と地域の活性化を目指すため、県外から住み替える世帯に対して、無償で県の住宅施策の広報に協力する企業を登録する制度。※住まいづくり協議会会員に限定

①「住むなら埼玉!応援パートナー」の今年度の拡充内容について

・埼玉県のHPで、登録企業の皆様を紹介します。

・埼玉県の住み替え・移住イベントで、登録企業の皆様をPRします。

・定期的な支援制度の説明会で、登録後の活動をフォローアップします。

※「住むなら埼玉」移住サポートセンター（有楽町）の相談窓口で移住希望者に応援パートナーの皆様を紹介します。

②「住むなら埼玉!応援パートナー」一覧のページから個別ページへ掲載方法の変更を検討

⇒埼玉県HP「住むなら埼玉!応援パートナー」のページをリニューアルします。

https://www.pref.saitama.lg.jp/a1107/kurashi/jutaku/shien/sumunarasaitama-partner-top.html

埼玉県省エネ住宅フェア開催のお知らせ

埼玉県と連携して「エコで快適な暮らし方など環境にやさしい生活について知ってもらうイベント」の開催を通じて、すぐに始められる、節約につながる、環境にやさしい生活について提案します。

日　時　令和5年11月18日（土）　10:00～16:30

会　場　さいたま新都心駅東西自由通路

出展者　（株）AQGroup／近藤建設（株）／（株）太陽商工、（株）高砂建設／東京ガスグループ／東京電力エナジーパートナー（株）／（株）LIXIL／YKKAP（株）／環境ネットワーク埼玉／埼玉県住まいづくり協議会

ブース内容　省エネ住宅や環境に配慮した住まい方の普及を促進することを目的として、来場者への省エネ効果やリフォーム、節電、節ガス等の情報をわかりやすく提案します。また、埼玉県住まいづくり協議会ブースではリフォーム相談もお受けいたします。

10月は住生活月間

経済・資産形成や
住宅業界のDX化に
関するセミナー

参加費無料

令和5年度

住生活月間シンポジウム

日程 令和5年10月20日(金)
14:00～17:00(開場13:30～)

会場 武蔵野銀行本店ビル2階
M's SQUARE(エムズスクエア)
さいたま市大宮区桜木町1丁目10-8

定員 各部とも 先着150名(事前予約制)

「ホンマでっか!?TV」等にも出演されている
門倉貴史さんによるご講演や、住宅業界における
様々なDXをご紹介!

一般県民の方も
大歓迎！

併設カフェの
アイスコーヒーを
無料でご提供♪

1部　講演会

これからの日本経済と資産形成
～人生100年時代の生き方・暮らし方～

時間●14:00～15:00
講師●門倉貴史 氏

2部　DXセミナー・交流会、相談会

時間●15:30～17:00

DXセミナーでは営業支援システム、無人モデルハウス、現場管理システム等、住宅に関するDXをご紹介!

またマッチングの機会となる参加者同士の交流会や相談会も同時開催します。

常設展示

期間●10/16(月)～10/20(金)

期間中は地方創生スペースである同会場を活用し、住まいづくり協議会員による豊かな住生活に資する取組について、パネル展示や動画放映を実施します。こちらもお気軽にお立ち寄りください♪

申込方法等の詳細は裏面をご覧ください

10月は住生活月間です

毎年10月の「住生活月間」では、全国各地で「住まい」や「暮らし」に役立つイベントが行われています。埼玉県においても県、市町村、または住宅関連団体が主体となり、県民の住生活への関心を高められるようなイベントを毎年開催しています。